

第2回 湖西市地域公共交通会議 会議録

日 時：令和元年8月30日（金） 15時00分～

場 所：市民活動センター 2階大会議室

出席者：19人

会長	田中 伸弘	湖西市副市長
副会長	長田 尚史	湖西市産業部長
座長	杉木 直	豊橋技術科学大学准教授
委員	諸井 宏司	遠州鉄道株式会社 運輸業務部長
委員	大久保 公雄	浜松バス株式会社 代表取締役社長
委員	榊原 正之	遠鉄タクシー株式会社 運行営業部長
委員	平野 隆広	天竜浜名湖鉄道株式会社 常務取締役
委員	堀内 哲郎	(社)静岡県バス協会 専務理事
委員	小松田 始	中部運輸局静岡運輸支局 首席運輸企画専門官
委員	田中 友親	遠州鉄道 労働組合 副執行委員長
委員	大倉 篤 (代理：紅林 哲)	静岡県 交通基盤部 地域交通課長
委員	内海 孝久 (欠席)	静岡県 浜松土木事務所 維持管理課長
委員	馬淵 邦禎 (代理：佐々木 秀喜)	静岡県湖西警察署 交通課長
委員	竹島 清一	湖西市自治会連合会 会長
委員	杉浦 徹衛	湖西市老人クラブ連合会 会長
委員	佐藤 幸夫	湖西市社会福祉協議会 会長
委員	土屋 守廣	湖西市 都市整備部長
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係長
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係主任

配付資料：会議次第

湖西市地域公共交通会議の概要について

(資料1) 白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）利用状況報告

(資料2) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金にかかる上限額について

(資料3) 知波田地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）の仕様について

(資料4) 白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）に係る運行便数の追加について

(資料5) 湖西市における地域公共交通ネットワークの将来像について

1 開会

2 会長挨拶

暑い日が続いており、本日はあいにく雨ということでお足元が悪い中ご参加いただき、ありがとうございます。第2回目の湖西市地域公共交通会議となります。また、先般、書面審議にて急遽お願いすることになりました「入出新所鷺津線」使用車両の大型化に伴う運行経路の変更とバス停の追加につきましては、委員皆様の承認をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

今日の次第ですが、報告事項2件、協議事項2件、その次に討議事項1件となっております。今までこういった項目がありませんでしたので、ここで少し触れさせていただきます。今月の1日に湖西市とモネテクノロジーズと言いまして、トヨタ自動車とソフトバンクが共同出資で作った会社であり、その会社と覚書を締結しました。最近新聞でも出てますが、自動運転や今後の公共交通を模索している会社であります。モネテクノロジーズさんと組んで湖西市市内で新しい公共交通を考えていこうというような取組みを始めたところでございます。現在コーちゃんバスやデマンドなど取り組んでおりますが、今後の湖西市における公共交通をどういう風に変わっていくのかを発表させていただきます。それについて、忌憚のないご意見を頂戴したいと思います。

3 報告事項

(1) 白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）利用状況報告

<事務局>

- 資料説明（資料1）

<座長>

- 一般の方の利用が増えている理由について事務局としての見解は？

<事務局>

- 地域の方々に誘い合って乗るという意識で利用が進んでいるのではないかと考えております。

<委員>

- 利用者満足度について、定期的に行われているということによろしいでしょうか。

<事務局>

- 昨年度の11月のアンケート結果になります。定期的には行っておりませんが、過去2回実施しております。そのアンケートの中にご意見やご要望を記載する部分を入れ込みまして、事業に反映させています。具体的には、予約時間について、当初は1時間前の予約でした。利用者の方から長いというご意見がありました。運行事業者様と相談した結果、運行事業者様のご協力をいただき、現在の30分前予約となっております。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金に係る上限額について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<委員>

- 事務局より申した通り、あくまで予定額であります。大きな変更はないと思いますが、ご承知いただければと思います。

4 協議事項

（1）知波田地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）の仕様について

<事務局>

- 資料説明（資料3）

<委員>

- 7ページの運行区域の部分について、「6自治会の地域」の後に「及び指定施設」を追加していただきたいと思います。また、確認ですが、道路運送法第21条で許可を受ける予定ですか？それとも4条？

<事務局>

4条を予定しております。

<座長>

- 協議事項1「知波田地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）の仕様について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

（2）白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）に係る運行便数の追加について

<事務局>

- 資料説明（資料4）

<委員>

- 今回の追加について、コーちゃんバスを減便に伴ってということですが、減便したのにデマンドを追加するのはなぜでしょうか。利用者が少ないため減便となったにも関わらずデマンドを追加するという点において、本当に利用があるのでしょうか。

<事務局>

- バスで運行するにおいては定時定路線でございますので、需要があってもなくても走らなければならないという点に対して、デマンド型乗合タクシーについては、需要に応じて運行を柔軟に運行できる点があります。需要に応じて対応できる柔軟性を取ったということでご理解いただければと思います。

<座長>

- 今まで利用者が全くいなかった訳ではないので、バスの便がなくなったことによって困る方はいらっしゃるんですね。その方のために今までのようなコミュニティバスをそのまま走らせるということは中々難しいですが、それに変わる手段としてデマンドを使えるようにしておくは必要ではないかと思えます。

<座長>

- 協議事項2「白須賀地区におけるデマンド型乗合タクシー（実証実験）に係る運行便数の追加について」のご承認をいただければと思いますが、よろしいでしょうか。

<一同>

- 異議なし

<座長>

- ご異議ございませんので、承認とさせていただきます。

5 討議事項

(1) 湖西市における地域公共交通ネットワークの将来像について

<事務局>

- 資料説明（資料5）

<委員>

- 弊社は白須賀でデマンドを運行しており、11月から知波田でもデマンドを行うにあたり現在住民説明会を行っており、そこにも参加させていただいております。その中で白須賀も含めて色々ご意見を伺うと、非常に好感を持たれているといった所を感じます。どういった点かという点、「ラストワンマイル」というところが喜ばれている点です。また料金についても、普通のタクシーだと1~2000円かかるところが百円単位で収められているところが非常に好感を持たれていると思っております。この流れを上手く拡大していくべきだと思っております。予約が無ければ走らない、行政側からするとコストが抑えられると思えます。ただ事業者側からするとリスクになることがあります。走る準備はしているけれども予約が入らないと何もできない。バス同様タクシーも運転手不足の状況ですが、これだけ利用があると安定収入として見れますので、非常に良い回り方をしているのかなと思えます。インセンティブについて袋井市がやっておりますが、湖西

市ほど利用がないため効果はわかりません。磐田市や浜松市でもデマンドをやっておりますが、地域によって実態が異なります。磐田市が比較的湖西市に近く、年々利用が相当伸びております。もう一つ言わせていただきますと、現在予約を電話のみで受け付けております。管理や配車については人の手でやっております。MaaSなどのシステムを入れることにより、ミスなく迅速に正確にできるのではと思います。方向性としては間違っていないと思いますので、どんどん乗っていきたいと思います。

<委員>

- 14ページの説明について、とても良い説明ではないかと思えます。こういった部分を見据えてやっていかなければならないと思えます。高齢者は100m以上連続して歩けないという人が非常に多く、バス停まで行けないという声を良く聞きます。デマンドでDoor to Doorでという話になれば、高齢者への対応としては良くなると思えます。統計的な数字が前面になっている会議と感じていましたが、裏側の事情が段々話題となり、白須賀でも知波田でもデマンドが成功し、全域展開にということが大事だなと感じました。

<委員>

- 25ページの「地域住民の関与」と記載があるが、どこらへんを考えているのでしょうか。

<事務局>

- ご意見を頂戴したいと考えているところでして、いきなり経営にという一足飛びにいけるとは考えておらず、公共交通会議以外にも広くご意見を頂戴する機会があっても良いのではと考えております将来的には経営の一端を担っていただくことについてどうお考えかというご意見を頂戴したいと考えております。現時点でここまではやってもらいたいという考えはありません。

<委員>

- 自治会長への市の仕事が非常多いということで、ここ数年前から減らしている現状であります。その中で経営や自治会長へ何らかの役割を担ってもらうということについて、中々理解が得られないのではないかと思います。ただそうは言っても地域の代表という立場であるため、非常に難しいと思えます。
- 行きは病院、帰りは買物施設の利用が多いという説明がありましたが、コーちゃんバスの利用者も同様のパターンが多いのではないかなと思えます。この辺を参考にしながらバスの再編を検討しても良いのではと思います。市の持ち出しが多いという所は理解できます。他市の状況を勉強しながらやっていただければと思います。

<事務局>

- 少し言葉で書きすぎている点があると思えます。これが完成形ではなく、今後どういう風に進んでいくかを考えた時に、交通弱者への対策としてデマンド型乗合タクシーを面的にカバーさせていきたい、バスと重複している部分については少しバスの方を圧縮していく方向で検討していきたいと考えております。

<委員>

- バスを縮小と書いてしまっており誤解が生じるところがあるが、今まではコースが長大化しており、目的地に着くまで一時間かかるコースもあるため、皆様のご意見をいただきながら効率的な選定という方向でご理解をいただければと思います。

<委員>

- 交通弱者からのご意見の中でコーちゃんバスを利用するにしてもバス停まで遠いという声はかなり多く聞きます。白須賀や知波田ではデマンドでカバーできています。他の地域へ展開する際の手順として、デマンド型乗合タクシーを先に導入し、その後でコーちゃんバスを整理していくという順番が良いのではないのでしょうか。逆の手順だと困る方がいらっしゃるのではと思います。

<委員>

- コーちゃんバス開始から5~6年たっており、実績としてはある程度出てきていると思いますので、整理する必要があるのではと思います。こういう話が出るのは大変良いことではと思っていますし、時代背景に合った運行が市民の皆様の利用を促進するのではと思います。運行事業者として協力はしていきたいと思います。

<委員>

- バス1台仕立てて定時運行する中で乗られる方が少ない、効率が悪いといわれる中で色々な地域、特に人口が少ない地域でデマンドタクシーが進んでいると思います。ただ、バスの効率は人さえ集まれば良くなりますしコストも低く済むと思われます。我々として考えているのは、各地区から主要路線までタクシーなど集まっただいて主要路線をしっかり維持するという考えです。市民全員がタクシーを利用となるのもたないのではと思います。どこで線を引くかは大変な部分かなと思います。

<委員>

- デマンド型乗合タクシーを面的に配備するにあたって、一般タクシーやバス路線への配慮が必要ではないかと思います。また、コーちゃんバスについて、国庫補助金を受けて運行されていますが、受けるには要件があります。その点も配慮する必要があるのではと思います。

<委員>

- 昨今報道のとおり、要員不足があります。それはバスもタクシーもありますので、要員的に厳しいのではと思います。

<委員>

- ボランティアのような自家用有償運送など他にも色々な選択肢があると思います。それらも検討するのもありなのではと感じております。今月頭に、国交省主催の自治体の成功事例などの発表会に参加しましたが、その中の一つの事例で、地区の人達が直接事業者へコース設定や運賃設定

などを交渉して全部決め、その自治体は法令関係のサポートくらいという事例もありました。地域に根付くという点では住民の関与は必要だと思います。それが全てではないですが、住民の関与はあるべきだと私は思います。

<委員>

- 全域デマンドにしてしまうと自宅から鉄道駅になってしまいます。となると、他の公共交通機関にも影響が出てしまうと思います。この辺は地域の方々への意見も聞きながら慎重に進めたほうが良いと思います。インセンティブについては他市もありますので、良いのではと思います。

<委員長>

- 皆様、貴重なご意見ありがとうございます。市では移住定住を推進しております。また、買物は市外でされており、市内にてお金の循環がされていないと現実があります。また、病院や買物をグルグル回って帰られるようなお金の循環が市内で完結しますので、公共交通は大事だと考えております。事務局へは、公共交通に係る費用だけでなく波及効果について少し簡単に研究してもらい、毎日利用が増えるごとに市内でどれだけお金が増えるかを把握してみるのもおもしろいのではないかと思います。公共交通単体で赤字でも波及効果を見ればプラスとなればそれはアリだと思っております。

<座長>

- デマンドタクシーを面的にカバーする点について、サービスを向上させるという点では賛成ですが、良く考えなければいけないと思います。ただ単に安いタクシーが全域カバーしているのでは公共交通ではないかなと思います。何のための公共交通なのか、デマンド型乗り合いタクシーかを良く考えていかなければならないと思っております。
- インセンティブについて、乗合率が向上する形であれば色々なやり方はありますがあった方がよいのではと思います。
- 地域住民の関与について、今日のお話を含めて全体の大きな流れをこれから考えていくことになると思います。その時点から住民の方に関わっていただいて、このまちの将来の公共交通像がどういうふうに向かっていくかを共に考えていく所から始めた上で関与していただくのが良いのではないかと思います。

5 その他

<事務局>

- 次回の第3回公共交通会議について、12月頃を予定しています。日程等の詳細は後日連絡します。

6 閉会

<事務局>

- 以上をもって、令和元年度第2回湖西市地域公共交通会議を終了とします。

以上